

2006. 6. 28



国営ひたち海浜公園

PRESS RELEASE

～ 季節の花便り ～

ラベンダーが咲き始めました！

そのほか、さまざまな香りのハーブ類が見頃です。

について

謹啓

初夏の候 皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、ひたち海浜公園の「ラベンダー(イングリッシュラベンダー)」が咲き始めましたのでお知らせいたします。しずくのような紫色の花をつけ、その香りの良さから“ハーブの女王”と呼ばれるラベンダーが7月下旬頃までお楽しみいただけます。

また、ラベンダーの開花にあわせて、各種イベントを開催いたしますので重ねてご案内いたします。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしく
お願い申し上げます。

謹白



平成17年7月3日撮影

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4
ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・小池

電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339

※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

ラベンダーについて

学名はラテン語の「洗う」の意味。防虫効果を期待して、こんもり茂った株の上で洗濯物を乾かすこともあるようです。こうした洗濯物には、ストレスを癒すさわやかな香りが残ります。

日本では、見渡す限りどこまでも青紫色に輝く北海道の富良野が有名。香りは心を穏やかにし、万人に愛される代表的なハーブです。品種には、イングリッシュラベンダー、スパイクラベンダー、ラバンジン（イングリッシュラベンダーとスパイクラベンダーの交配種）、フレンチラベンダー等があり、品種によって成分・効能が異なります。

利用法・効能：心を落ち着かせる香り。殺菌消毒力に優れ、整肌作用や細胞を活性化する働きがあり、心身ともに鎮静させます。安眠、精神疲労、イライラ、頭痛、消化促進、炎症などにも良く、ポプリ、安眠枕、アロマキャンドルなど幅広く利用されます。ティーもOK。

海浜公園では、現在“イングリッシュラベンダー”が咲き始めており、砂丘エリア内にあるハーブガーデン「香りの谷」で開花しているほか、サイクリングコースの第8サークル付近でもご覧いただけます。

◆「香りの谷」(砂丘エリア)

谷間を利用した「沈床花壇式」のハーブガーデンで、面積が約2,200m²、品種数約70種類。公園ボランティア“ハーブパートナー”の方々（現在43人登録）が、毎月第1、第3木曜日に2時間程度、株の植え替え、除草、剪定などの管理作業を行っています。地道な手入れにより、香りの谷では四季折々に、ハーブのさまざまな花姿、香り、手触りをじっくりと楽しむことができます。

最寄口は南口あるいは海浜口です。



◆その他、「香りの谷」で現在開花しているハーブ類

現在、ラベンダーをはじめ、ガウラ、ローマンカモマイル、ジギタリス、チコリ、ヤロウ、エキナセア、マロウなどが花を咲かせています(6月25日撮影)。



↑マロウ(アオイ科)



↑エキナセア(キク科)



↑ローマンカモマイル(キク科)



ジギタリス(ゴマノハグサ科)→

ラベンダー開花期間中のイベントについて

ラベンダーをはじめとした初夏のハーブ類を取り入れたイベントを実施しています。

◆花のある暮らし塾「ラベンダーのクリーム・ポプリ作り」

内容:リラックス効果等の効能があるラベンダーを蒸留して、美容クリームとポプリを作ります。材料には園内のラベンダーも使用しています。

日時:7月9日(日) 10:30~12:00、13:30~15:00
(各回20人、事前申込み)

場所:グリーン工房

参加費:900円

講師:永井 喜志子(ハーブ研究家)



◆ハーブパートナーと一緒に ラベンダーで楽しもう!

内容:「香りの谷」の手入れを行っているハーブパートナーと一緒に、ラベンダースティックやサシェ(におい袋)を作ります。材料には園内のラベンダーを使用しています。

日時:7月16日(日)

10:30~12:00 ラベンダースティック作り
(先着30人)

13:30~15:00 サシェ(におい袋)作り
(先着50人)

ハーブティーのサービス(各回先着100人)

場所:香りの谷

(※雨天時はグリーン工房)

参加費:無料

協力:ハーブパートナー



ラベンダースティック



◆海浜陶芸塾～第8期塾生作品展～

内容:海浜陶芸塾の塾生の皆さんの作品展を行っています。登り窯焼成のできあがった作品を中心に、個性的な作品が並びます。いずれも力作揃いです。

日時:6月25日(日)~7月11日(火) 9:30~17:00

場所:ガラスハウス

観覧:無料



登り窯焼成の様子